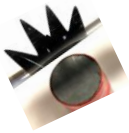
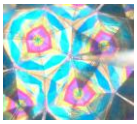


２０２６年度　Ｄコース（小学校 1.2.3 年生）



【D コース開講について】

開校以来、保護者の皆様から、次のようなご意見・ご提案を頂いて参りました。

- □ 時間にゆとりがある低学年のうちに、月に 2 回のコースをつくってほしい。
- □ T コースで、もっとたくさんの実験をやってほしい。
- □ 中学入試のベースとなるような、低学年でも楽しめる実験コースをつくってほしい。

そんなお子様・保護者様のご要望に応えるべく開講されるのが **D コース**です。

D コースでは、新たな**発見**（**D**iscovery）を目指します。受講カリキュラムは、**T コース 12 回と D コース 12 回を合わせて、年 24 回となります。**

※詳細は 2026 年度 D コースカリキュラム参照

【対　象】　T コース在籍の方（D コースのみの在籍はできません）

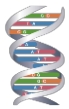
【背景とねらい】

近年、科学・AI の発達により、生活の中にも多くの情報があふれています。あんなこと知っている、こんなことも知っている、でも実際はどうなんだろう？　たくさんの知識はそれだけではあまり役に立ちません。自ら体験することで、**生きた知識**（使えるもの）に変わっていきます。**「理科実験」**は、たくさんの生活情報を、**「生きた知識」**に定着させるためにとても有効です。

　子どもたちは**「実験」**すると、とても興奮します。お子様の才能は、そのテーマの一部を実験することで、その**分野全体が好きになっていくイメージ力**をもっていることです。様々な分野が好きになってくれば、難解なテーマも**好きな分野**となってしまいます。

　D コースでは、驚きのある現象をたくさん体験し、どんどん好きな分野を広げ、**分野の垣根を超えた科学的イメージ力** を培っていただきたいと思っております。そして、2026 年度のカリキュラムは、なにより**楽しく科学の世界を体験**できるカリキュラムとなっています。

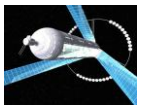
【近年の中学入試の出題傾向】



　近年、**中学入試・高校入試の出題**も、社会問題の影響を多々受けています。中学入試の場合、小学生の学習範囲外の知識も**「時事問題」**として多数出題されてきています。

※P3　2026 年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向　参照

　これら時事問題からの出題は、年々多くなる傾向があり、家庭内の現象から宇宙規模のものまで幅広い範囲からの出題となっています。D コースでは、これら時事問題の実験も、**低学年でも分かりやすく** 楽しくゆっくり実験して参ります。



【実施校・クラス】

2026 年度の開講クラスは**金沢文庫校・二子玉川校**で **D1** と **D2** の２クラスの予定です。この機会に是非ご参加ください。

※詳細は 2026 年度年間授業日程予定表１月発表参照